

2023 J A全農杯全国小学生選抜サッカー大会 in 関東 山梨県大会
実 施 要 項

1 名称

2023 J A全農杯全国小学生選抜サッカー大会 in 関東 山梨県大会

2 主催

一般社団法人山梨県サッカー協会

3 主管

一般社団法人山梨県サッカー協会4種委員会

4 日程・会場

開催日：	2022年10月22日(土)、30日(日)、12月3日(土)	
会場：	予選1次リーグ	県内会場
	予選2次リーグ	日世南アルプススタジアム(南アルプス市) 長坂総合スポーツ公園(北杜市)
	準々決勝、準決勝、決勝	小瀬補助競技場(甲府市)
組合せ：	2022年9月10日(金)に4種委員会評議員会において自動抽選を行い、発表する。	
開会式：	実施しない。	
閉会式：	2022年12月3日(土)小瀬補助競技場G(甲府市)	

※ 予選リーグ運営責任チーム及び会場は、グループ内で決定するものとする。

※ 予選リーグ開催に係る会場使用料は、グループ内のチームの負担とする。

※ 準々決勝、準決勝及び決勝の運営は、4種委員会役員及び事業運営部とする。

5 参加資格

- (1) 「参加チーム」は、大会実施年度に日本サッカー協会(以下「JFA」)第4種に加盟登録したチーム(以下「加盟チーム」)であること。
- (2) 上記「参加チーム」の構成は、単一「加盟チーム」に限られ、その「加盟チーム」は年間を通じて継続的に活動していること。
- (3) 「参加選手」は、上記「加盟チーム」に所属し、選手登録された者であること。
- (4) 小学校5年生以下であること。
- (5) 選手は大会初日から最終日までの大会期間中に移籍し、2チームに出場することは出来ない。
- (6) 会場確保、運営等に協力できるチームであること。
- (7) 4種委員会が定める「新型コロナウイルス感染症予防ガイドライン」を遵守し、大会運営に協力できるチームであること。

- (8) 女子選手については、(クラブ申請を承認された) 同一クラブ内の他の「加盟チーム」から参加させることも可能とする。
- (9) 引率指導者は「参加チーム」を掌握指導する責任ある指導者であること。なお、ベンチ入りする引率指導者のうち、1名以上はJFA公認指導者ライセンス(D級コーチライセンス以上)を有すること。
- (10) 「参加選手」は健康であり、且つ保護者の同意を得ていること。

6 複数エントリー

不可とする。

7 参加チームとその数

参加チームは、以下により申込及びエントリーした28チームとする。

- (1) 令和4年8月8日(月)までに各地区理事に参加申込を行ったチーム(各地区理事は、参加チーム名を事業運営部長及び峡北地区理事に報告を行うものとする。)
- (2) KICKOFFから「大会エントリー」申請を行ったチーム

8 大会形式

- (1) 予選1次リーグ : 8グループに分けリーグ戦を行う。
各グループの1位・2位チームが予選2次リーグに進出する。
- (2) 予選2次リーグ : 4グループに分けリーグ戦を行う。
各グループの1位・2位が決勝トーナメントに進出する。
なお、予選1次リーグの同組のチームは、予選2次リーグの同グループでは対戦しない。
- (3) 予選1次リーグ及び予選2次リーグにおける順位決定方法は、勝利3点、引分1点、敗戦0点の勝点により、勝点の多い順に決定する。なお、勝点の合計が同一の場合は、以下の項目に従い順位を決定する。
 - ① 全試合の得失点差(総得点-総失点)
 - ② 全試合の総得点
 - ③ 当該チーム同士の対戦成績(勝敗)
 - ④ ①~③の全項目において同一の場合は、抽選により決定する。
- (4) 決勝トーナメント: 予選2次リーグ1位チーム及び2位チーム計8チームによるノックアウト方式にて優勝以下第3位までを決定する。(第3位決定戦は行わない。)

9 競技規則

JFA「サッカー競技規則(2021/22)」および「8人制サッカー競技規則」による。

10 競技会規定

以下の項目については本大会の規定を定める。

(1) 競技のフィールド

フィールドの表面は、天然芝、人工芝またはクレーとする。

サイズは原則以下のとおりとする。

フィールドの大きさ：長さ（タッチライン）68m×幅（ゴールライン）50m

ペナルティーエリア：12m

ペナルティーマーク：8m

ペナルティーアークの半径：7m

ゴールエリア：4m

センターサークルの半径：7m

(2) ボール

試合球は4号検定皮製ボールとし、各チーム持ち寄りとする。ただし、準々決勝、準決勝及び決勝については、本部にて用意する。

(3) 競技者の数

競技者の数 : 8名（内1名はゴールキーパー）

大会登録選手数：20名以下

試合登録選手数：16名（ベンチ内の選手はビブスを着用すること。）

選手交代等 : 第1ピリオドと第2ピリオドで選手を総入れ替えとする。なお、第3ピリオドについては、自由な交代とする。ただし、同一選手の出場は最大で2ピリオドまでとし、3ピリオド全てに出場することはできない。決勝戦の延長戦については、前後半で同一選手が出場することができるものとし、自由な交代を適用する。

退場、怪我等があった場合においても、3ピリオド全てには出場することはできない。

※試合中に選手が退場または負傷した場合は、試合登録選手の16名のうちから交代を行うものとする。

ベンチ入り選手の人数は20名以内とし、8名の交代要員と区分できるようにすること。ただし、新型コロナウイルス感染症対策のため、ベンチ入り選手を試合登録選手のみに制限する場合がある。この場合は、会場責任者の指示に従うこととする。

(4) ベンチ入りする引率指導者の数：2名以上3名以下とし、必ず1名はJFA公認指導者ライセンス（D級コーチライセンス以上）を有すること。

(5) 審判員

1人の主審と補助審判が指名される。

(6) テクニカルエリア

設置する。

(7) 戦術的指示

(4)記載のベンチ入りする引率指導者は、テクニカルエリア内からその都度1名の指導者に限り、立って戦術的指示を伝える事ができる。

(8) 競技者の用具・ユニフォーム

① JFAのユニフォーム規程に基づいたユニフォームを使用しなければならない。

- ② 本競技会に登録した正・副2組のユニフォーム（シャツ、ショート及びソックス）を試合会場に持参し、いずれかを着用しなければならない。
 - ③ 正・副の2色については明確に異なる色とする。
 - ④ ユニフォームのデザイン、ロゴ等が異なっても、本大会主催者が認める場合、主たる色が同系色であれば着用することができる。
 - ⑤ ゴールキーパーのユニフォームについて、ショート、ソックスはフィールドプレーヤーと同系色でも良いものとする。
 - ⑥ 審判員は、対戦するチームのユニフォームの色彩が類似しており判別しがたいと判断したときは、両チームの立ち会いのもとに、その試合において着用するユニフォームを決定する。
 - ⑦ 前記の場合、審判員は、両チームの各2組のユニフォームのうちから、シャツ、ショート及びソックスのそれぞれについて、判別しやすい組み合わせを決定することができる。
 - ⑧ ソックスにテープまたはその他の材質のものを貼り付ける、または外部に着用する場合、ソックスと同色でなくても良い。
 - ⑨ アンダーシャツの色は問わない。ただし原則としてチーム内で同色のものを着用する。
 - ⑩ アンダーショートおよびタイツの色は問わない。ただし原則としてチーム内で同色のものを着用する。
 - ⑪ Jクラブ傘下のチームについては、公益社団法人日本プロサッカーリーグ（以下「Jリーグ」）のユニフォーム要項に認められたユニフォームであれば使用を認められる。ただし一部でも仕様が異なる場合は認められない。ユニフォームへの広告表示については本号⑩に準じる。
 - ⑫ ユニフォーム（シャツ・ショート・ソックス）については、正の他に副として、正と色彩が異なり判別しやすいユニフォームをKICKOFF申請の際に登録し、各試合に必ず携行すること（FP・GK用共）。
 - ⑬ シャツの前面・背面に参加申込の際に登録した選手番号を付けること。ショートの選手番号についてはつけることが望ましい。
 - ⑭ 選手番号については、参加選手ごとに大会に登録されたものを使用する。
 - ⑮ ユニフォームの色、選手番号のKICKOFF申請期日以後の変更は認めない。
 - ⑯ ユニフォームへの広告表示については、JFA第4種大会部会が別途定める規定に基づくものでなければならない。大会初日までにJFAに承認された場合にのみ認められる。
- ※ JFAユニフォーム規程第10条において適用除外を受けたJリーグに所属するクラブの下部組織のチームは、当該クラブのトップチームと同一のユニフォーム広告を掲示することが認められる。但し、アルコール等、未成年チームにふさわしくない広告については除外する。
- ⑰ シューズは固定式ポイントとすること。
 - ⑱ 出場選手は、すね当てを着用すること。
 - ⑲ ゴールキーパーの負傷により、フィールドプレーヤーが交替した場合のユニフォームはビブス着用を可とする。
- (9) 試合時間等
- ① 試合時間は36分（第1、第2、第3ピリオド各12分）とする。
第1ピリオドと第2ピリオド間は、選手総入れ替えに要する時間のみとする。

第2ピリオドと第3ピリオドのインターバル：原則5分間

② 第3ピリオドのサイドはコイントスで決定し、約半分が経過したところでサイドをチェンジする。
なお、タイミングは審判に委ねることとする。

③ 規定の試合時間内に勝敗が決しない場合

第1次リーグ及び第2次リーグ：引き分けとする。

準々決勝及び準決勝：ペナルティキック方式により勝利チームを決定する。

決勝：6分間（前後半各3分）の延長戦を行い、なお決しない場合はペナルティキック方式により勝利チームを決定する。

延長戦に入る前のインターバル：原則5分間

ペナルティキック方式に入る前のインターバル：原則1分間

④ アディショナルタイムの表示：行わない。

(10) 交代の手続き（第3ピリオド、延長または選手が負傷した場合に限る。）

① 交代して退く競技者は、交代ゾーンからフィールドの外に出る。ただし、交代して退くゴールキーパーは、境界線の最も近い地点からフィールドの外に出なければならない。

② 交代要員は、交代ゾーンからフィールドに入り、競技者となる。

③ 交代は、ボールがインプレー中、アウトオブプレー中にかかわらず行うことができる。

④ 交代は、主審、補助審判の承認を得る必要はない。ただし、ゴールキーパーは、事前に主審に通知した上で、試合の停止中に入れ替わることができる。

※ 交代で退く競技者が負傷している場合は、主審の承認を得た上でどこからフィールドを離れてもよい。

(11) 負傷者の対応

主審が認めた場合のみ、最大2名ピッチへの入場を許可される。

(12) ベンチサイド

組み合わせ表の番号の小さいチームがピッチに向かって左側とする。

(13) チーム役員への対応

責任ある態度で行動しないチーム役員がいた場合、主審は当該役員をフィールド及びその周辺から立ち退かすことができる。

(14) メンバー表の提出

全試合、試合開始30分前までにメンバー表を提出すること。

※ 選手の背番号については、大会期間中変更できないものとする。

(15) 選手証、指導者資格証の提示

選手証及び指導者資格証の提示は、次の通りとする。

会場運営責任チームがメンバー表と選手証（「KICKOFF アプリケーション表示の電子登録証」（スマホ・タブレット）も可）またはエントリー票（顔写真付き）によりメンバー表記載の選手を照合する。（第1試合目のみ・照合後直ちに返却）

選手証に不備（不携帯、写真不貼付等）があった場合は、当該選手またはチームは試合に出場できない。

なお、指導者資格証の確認については、上記の選手照合時に併せて行う。

(16) 審判

審判は主審1名と予備審判1名の2名とする。予備審判は記録・交代管理を担当する。

審判員は、審判着を上下着用し、ワッペンをつける。審判要員は、必ず運営責任チームに審判証(写真貼付)の提示をすること。〔「KICKOFF アプリケーション表示の電子登録証」(スマホ・タブレット)も可〕

予選リーグ及び準々決勝は、別表割当てにより行うものとする。

(17) 不戦敗

大会期間中、上記5「参加資格」を満たす選手を16名以上確保すること。出場可能な選手が15人以下になったときは以下の通りとする。

A 予選1次リーグ及び予選2次リーグについては、得失点により順位決定に影響を与えることがあるため、当該チームとの全対戦結果を0-4の不戦敗扱いとする。

B 準々決勝、準決勝及び決勝においては、当該試合は不戦敗(0-4)扱いとする。

(18) マッチ・ウェルフェアオフィサー

暴力・暴言・威嚇や差別を排除し、子どもたちの安心・安全な環境づくりの一環としてマッチ・ウェルフェアオフィサーを配置する場合がある。

また、気づきがあった場合は当該チーム、指導者に対して話を行う場合がある。

(19) 荒天時の対応

大会全日程を通しては雨天実施とする。ただし、著しく荒天の場合またはコロナウイルス感染症に伴うチーム活動制限が生じた場合は、YFA4種委員会理事会にて協議の上、代替日を設定する場合がある。

(20) 運営責任チーム

予選1次リーグ及び予選2次リーグの会場設営、試合等の運営は、運営責任チーム(会場提供チーム)が中心となりグループ内のチームで行うこと。(予選1次リーグの会場は、グループ内で協議の上、決定を行う。なお、会場利用料は、グループ内で負担するものとする。)

(21) 結果の報告

運営責任チーム(会場提供チーム)は、予選1次リーグ及び予選2次リーグの試合結果(警告・退場があった場合は、審判報告書を含む。)に誤りがないことを確認し、試合終了後、直ちに広報部へ報告すること。

1.1 懲罰

(1) 本大会は、JFA「懲罰規程」に則り、大会規律委員会を設ける。

(2) 大会規律委員会の委員長はYFA4種委員長とし、委員については委員長が決定する。

(3) 本大会期間中に警告を2回受けた選手等は、本大会の次の1試合に出場できない。累積の警告は翌開催日に持ち越すものとする。

(4) 本大会において退場を命じられた選手等は、自動的に次の1試合に出場できず、それ以降の処置については大会規律委員会において決定する。

競技者が退場を命じられた場合は、その競技者のチームは交代要員の中から競技者を補充することができる。主審は競技者が補充されようとしている間は、試合を停止する。

(5) J F A諸規程および本記載事項にない事例に関しては、大会規律委員会にて決定する。

1 2 大会参加申込

- (1) 登録はチームあたり選手最大20名、役員及び帯同審判員は上限なしとする。
- (2) 「参加チーム」は、K I C K O F Fにて必要事項を入力の上、参加申込手続きを行うこととする。
なお、役員のうち1名を監督とすること。
- (3) 登録の申込期間：抽選後にシステムの準備が整い次第、別途通知する。
- (4) 大会名は「2023 J A全農杯全国小学生選抜サッカー大会 in 関東 山梨県予選」とする。
- (5) 申請後は、地区広報部（一次承認者）へ連絡し、最終承認後に「大会申込書」（「エントリー票」）のプリントアウトが可能となる。
- (6) 申請承認後、チーム役員、選手等の追加または変更を希望する場合は、申込期間中に限り「差戻し」処理で対応する。その場合は各地区承認者への連絡が必要となる。
- (7) 大会期間中は原則として登録内容の変更を認めない。

1 3 参加料

無料

1 4 選手証

各チームの登録選手は、顔が認識できる写真を貼付した選手証を持参しなければならない。

※ 選手証とは、K I C K O F Fから出力した選手証、登録選手一覧表または最終承認後のエントリー表を印刷したものを示す。

1 5 表彰

- (1) 優勝チームには表彰状及びトロフィーを授与する。
- (2) 準優勝チームには表彰状及びトロフィーを授与する。
- (3) 第3位チームには表彰状とトロフィーを授与する。
- (4) 優勝チーム及び準優勝チームの2チームは、山梨県代表として『2023 J A全農杯全国小学生選抜サッカー大会 in 関東』（栃木県開催）への出場権を得る。

1 6 傷害保険

チームの責任において傷害保険に加入すること。

1 7 その他

- (1) 大会期間中、疾病・傷害が発生した場合、応急処置のみを行うものとする。
- (2) 大会要項に規定されていない事項については、Y F A 4種委員会理事会において協議のうえ、決定する。

1 8 問い合わせ先

実行委員長 山梨県サッカー協会4種委員会委員長 鈴木和幸 090-8110-2710
大会運営責任者 峡北地区理事 福田 和久 090-4709-8503
峡北地区理事 窪田 圭司 090-2455-0172
事業運営部長 三科 健二郎 090-2255-1595
甲府会場責任者 甲府地区理事 野村 善仁 090-1033-2757
峡中会場責任者 峡中地区理事 望月 一徳 090-4840-1205
峡東会場責任者 峡東地区理事 廣瀬 幸司 090-1208-7119
郡東会場責任者 郡東地区理事 野口 徹 090-2673-4838
郡南会場責任者 郡南地区理事 近藤 暁 090-3212-9757
峡北会場責任者 峡北地区理事 福田 和久 090-4709-8503
会場運営責任者 各グループ会場提供チームの責任者（予選1次リーグ及び2次リーグ）

以上